

## OSS/Linux市場動向

# LinuxビジネスからOSSビジネスへの変革



**OSSTech**

**オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社**  
**代表取締役 チーフアーキテクト 小田切耕司**

**お問い合わせ [info@osstech.co.jp](mailto:info@osstech.co.jp)**

# 目次

1. 講師紹介、OSSTech社紹介
2. OSS市場動向
3. OSSビジネス最新動向
4. 官公庁・自治体での事例
5. OSSTech製品紹介

講師紹介  
オープンソース・ソリューション・テクノロジー  
会社紹介

# 講師紹介

● 代表取締役 チーフアーキテクト 小田切耕司

● 学歴: 1985年 3月 早稲田大学理工学部電気工学科卒業

● 職歴:

- 1985年4月: 三菱電機 計算機製作所に入社し、メインフレーム(汎用機)、UNIX、Windowsのトランザクションモニターやデータベースなどミドルウェア開発に従事。  
また、OSF/DCEの大規模ディレクトリサービスや分散ファイルシステムの研究を行い、某都市銀行や某石油会社の大規模ディレクトリサービス設計コンサルティングなども経験
- 2001年1月: ミラクル・リナックス株式会社へ入社。  
開発部 部長、製品本部 本部長、プロフェッショナル サービス部 部長を経験し、Linuxおよびオープンソース製品の開発、マーケティング、コンサルティングサービス事業立ち上げを行った。
- OSS(オープンソース・ソフトウェア)のSambaとは1996年頃からの付き合い。
  - 1997年に日本初のSamba解説本を執筆し、1998年にSamba1.9日本語版を国内初で開発した。
  - 日本Sambaユーザ会の設立にも寄与し、初代代表幹事を務める。
  - Sambaに関する書籍は日経Linux, オープンソースマガジン、Windowsサーバワールド、ソフトウェアデザイン、Linux マガジンなど月刊誌、ムックなど多数。
  - 日本Webminユーザーズグループの副代表幹事などもつとめ、オープンソース・コミュニティとのつながりは深く、業界やコミュニティでの知名度は高い。

● 参考URL)

- <http://itpro.nikkeibp.co.jp/members/ITPro/oss/20041111/152445/>
- <http://www.thinkit.co.jp/free/compare/3/1/>

# 著作紹介

- ◆ 日経コミュニケーション2007年11/15号から3回連載  
Windows管理者に送るSamba活用の道しるべ
- ◆ 技術評論社 Software Design 2006年7月号
  - ネットワーク運用／管理 五輪書(ごりんのしょ)
  - 「壺:地の巻」Sambaファイルサーバ
  - <http://www.gihyo.co.jp/magazines/SD/contents/200607>
- ◆ 2006年5月 翔泳社 開発の現場 vol.005
  - オープンソース案件指南帖
  - 総論編:オープンソースの基礎知識
  - <http://www.shoeisha.com/mag/kaihatsu/>
- ◆ 2006年5月 技術評論社 LDAP Super Expert
  - 巻頭企画
  - [新規／移行]LDAPディレクトリサービス導入計画
  - <http://www.gihyo.co.jp/magazines/ldap-se>
- ◆ 2006年5月 IDG月刊Windows Server World 2006年3月、4月号
  - 3月号: Shall we Samba?【お手軽導入編】
  - 4月号: Shall We Samba?【超本格運用編】
- ◆ 2005年10月 日経BP社 セキュアなSambaサーバの作り方
  - <http://itpro.nikkeibp.co.jp/linux/extra/mook/mook12/index.shtml>



# 会社概要

会社名	オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社	所属 団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>Linuxコンソーシアム 理事</li> <li>LPI-Japanビジネス・パートナー</li> </ul>
英語表記	Open Source Solution Technology Corporation		
社名略称	OSSTech (オーエスエステック) または OSSテクノロジー		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェアの企画、開発、販売およびサポート</li> <li>システムの導入に関するコンサルティング</li> <li>ソフトウェアに関する教育、研修、支援</li> </ul>	主要 取引先 および パートナー 様	<ul style="list-style-type: none"> <li>デル(株)</li> <li>(株)野村総合研究所</li> <li>サン・マイクロシステムズ(株)</li> <li>キャノンマーケティングジャパン(株)</li> <li>(株)バッファロー</li> <li>(株)大塚商会</li> <li>日本電信電話(株)</li> <li>(株)博報堂</li> <li>日本電気(株)</li> <li>富士通ネットワークソリューションズ(株)</li> <li>大分シーイーシー株式会社</li> <li>ミラクル・リナックス株式会社</li> </ul>
役員	代表取締役 小田切 耕司 技術取締役 武田 保真		
オフィス	〒141-0031 東京都品川区西五反田2-6-3 東洋ビル Tel & FAX : 03-6670-5764		
Webページ	<a href="http://www.osstech.co.jp/">http://www.osstech.co.jp/</a>		
設立	2006年9月		
資本金	800万円		

## オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社

- 昨年 9月に設立
- **OSに依存しないOSSのソリューションを中心に提供**
  - Red Hat Linuxだけでなく、CentOSやSolaris , FreeBSD , Debianなどへも対応！
- **Samba、LDAPなどによる認証統合ソリューションを提供**
  - 製品パッケージ提供
  - 製品サポート提供
  - 技術コンサルティング提供
  - Samba導入・出荷実績日本一（世界一？！）

<http://www.osstech.co.jp>

# OSSTechの優位性と差別化

- OSSTechの強みは認証基盤提供とWindows向けファイルサーバ構築 (NASメーカー支援も含む) LAMP(Linux, Apache, MySQL, PHP)やJava (Tomcat, JBOSS)などWeb系ソリューションと比べ競合がほとんどない。
- 小田切、武田、佐藤というOSSコミュニティで著名な3人が揃っている。
- 小田切  
Linuxだけでなく、Unixや汎用機、Windowsの開発経験  
大規模ディレクトリサービスやセキュリティなどコンサル経験多数。  
前職では技術部、製品、マーケティング、コンサルティング部隊の部長としてプロジェクトを0から立ち上げてきた。
- 武田  
Linuxカーネルエンジニア。Samba/LDAPのソース解析、修正はもちろん、Linuxカーネルも解析修正可能。
- 佐藤文優  
OSSの経験が多く、Samba/LDAPを初めとするいろいろなOSSの知識がある。Linuxだけでなく、Solarisにも詳しい。  
OSSのソースコード解析、修正が可能

# オープンソース市場動向



**OSSTech**

# OSS(オープンソース・ソフトウェア)とは

- ソースコードが公開されているだけではない。
- フリーであること。
- フリーとは無償という意味だけでなく、自由という意味
- ユーザから見たフリー
  - 無償で使えること、自由にソースコードを改変できること
- ベンダーから見た自由
  - ビジネスにする自由、ユーザや他のベンダからお金をもらう自由
  - 自由に機能追加、仕様変更できる自由
- OSからDB,APサーバ、オフィスソフト、ERP、グループウェア、会計、人事、医療など様々な分野のOSS(フリーソフト)が出現。今後ソフトウェアはほとんどが無償になる可能性がある。ライセンスビジネスからサービスビジネスへ転換する必要がある。

# OSSに関するFAQ(よくある質問)

- ライセンス販売できないのか?、OSSは儲からないのか?
  - GPLの場合、ライセンス販売はできないが、ソフトウェアでお金をもらうことはできる。パッケージ化することによる役務提供費用として、サポート費用として、ハードウェアや他の有償ソフトと同梱してお金をもらうなど
  - OSSでお金は取れる。ビジネスモデルに工夫が必要なだけ。
- マイクロソフトやノベル、SCOなどにライセンス費用や特許費用を払う必要があるのか?
  - 相手がそう言っているだけ、法的根拠は提示されていない。
    - 10/9 IP InnovationとTechnology LicensingがRed HatとNovellを特許侵害で世界で初めて提訴
  - 契約書での損害賠償条項、知的財産権補償条項に注意が必要
  - 経済産業省が4月に公開した「モデル契約書」  
[http://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/keiyaku/](http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/keiyaku/)
    - OSSを採用した場合は、著作権侵害の責任は負わない
    - 損害賠償額の上限は受注金額が上限
    - 損害賠償額の上限は裁判費用などにも適用される
- 修正や仕様変更、機能追加部分を公開する義務があるのか?
  - GPLは修正に関して公開義務あり、公開しなくても良い例外もあり、
  - BSD,MPLなど公開義務はない

## LinuxサーバとOSSの市場は急速に成長している

矢野経済研究所「企業情報システムにおけるLinux/OSSの導入実態と今後の展望2006」(2006/2/16発表)によると…

Linuxサーバの導入率は**39.2%**

ミドルのLinux対応やベンダ/Slerによるサポート体制・サービスの充実が導入を後押し

**Linux以外のOS上でOSSを使うユーザは多い**

公共では90%以上のユーザで導入されており、自治体でのオープンソース化が進んでいる。金融・保険業での導入が、この1年間で急激に拡大していることも特徴的な傾向として挙げられる

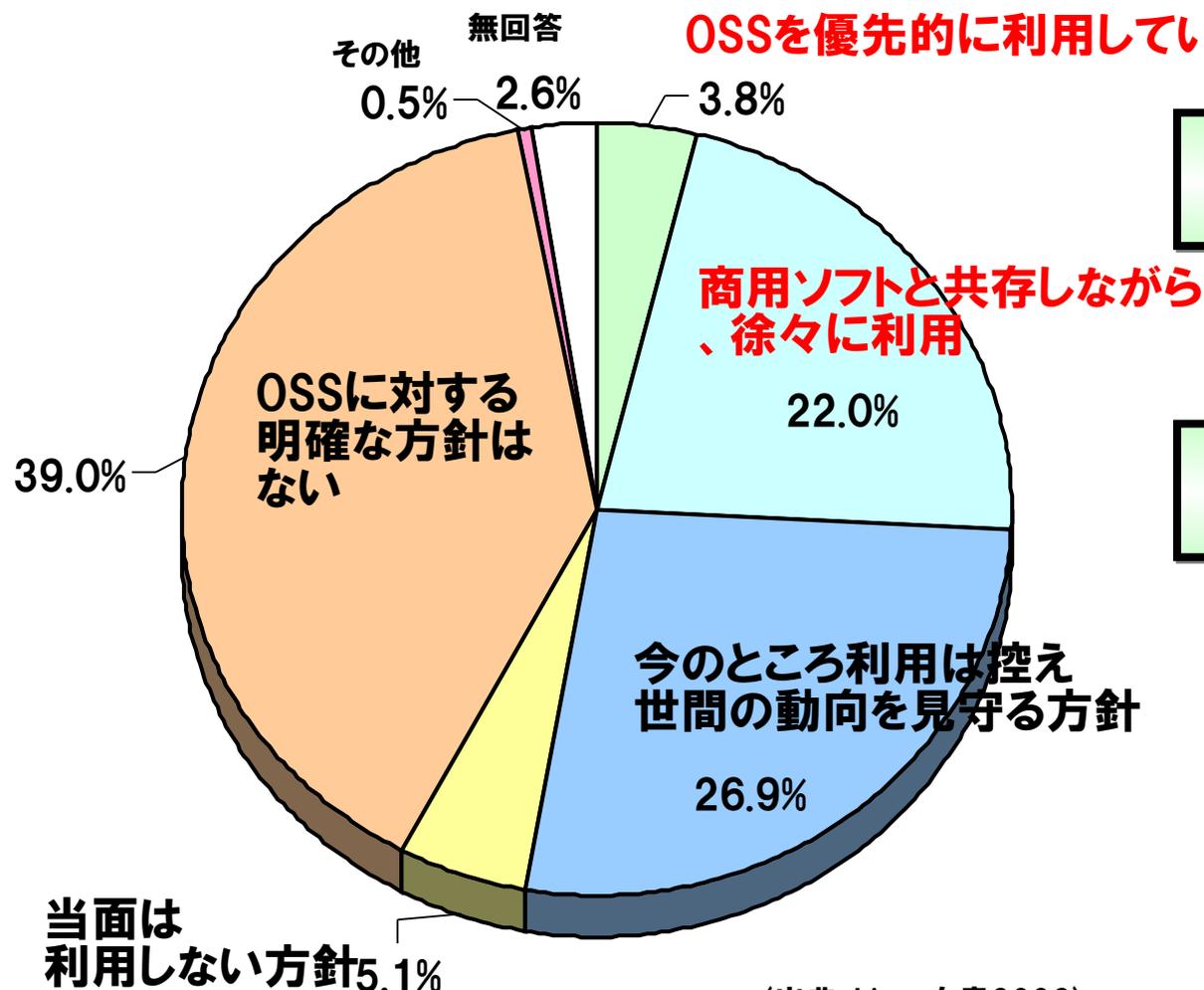
Linuxサーバ市場 年平均成長率  
約30% (2003年～2007年)

Linuxのサーバ搭載比率  
**11.8%** ⇒ **20.2%**  
(2003年) (2007年予測)

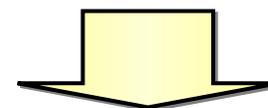


出典: Linuxオープンソース白書2006

## オープンソースソフトウェアの利用に関する全体的な方針



既に1/4のユーザ企業がOSS活用の方針

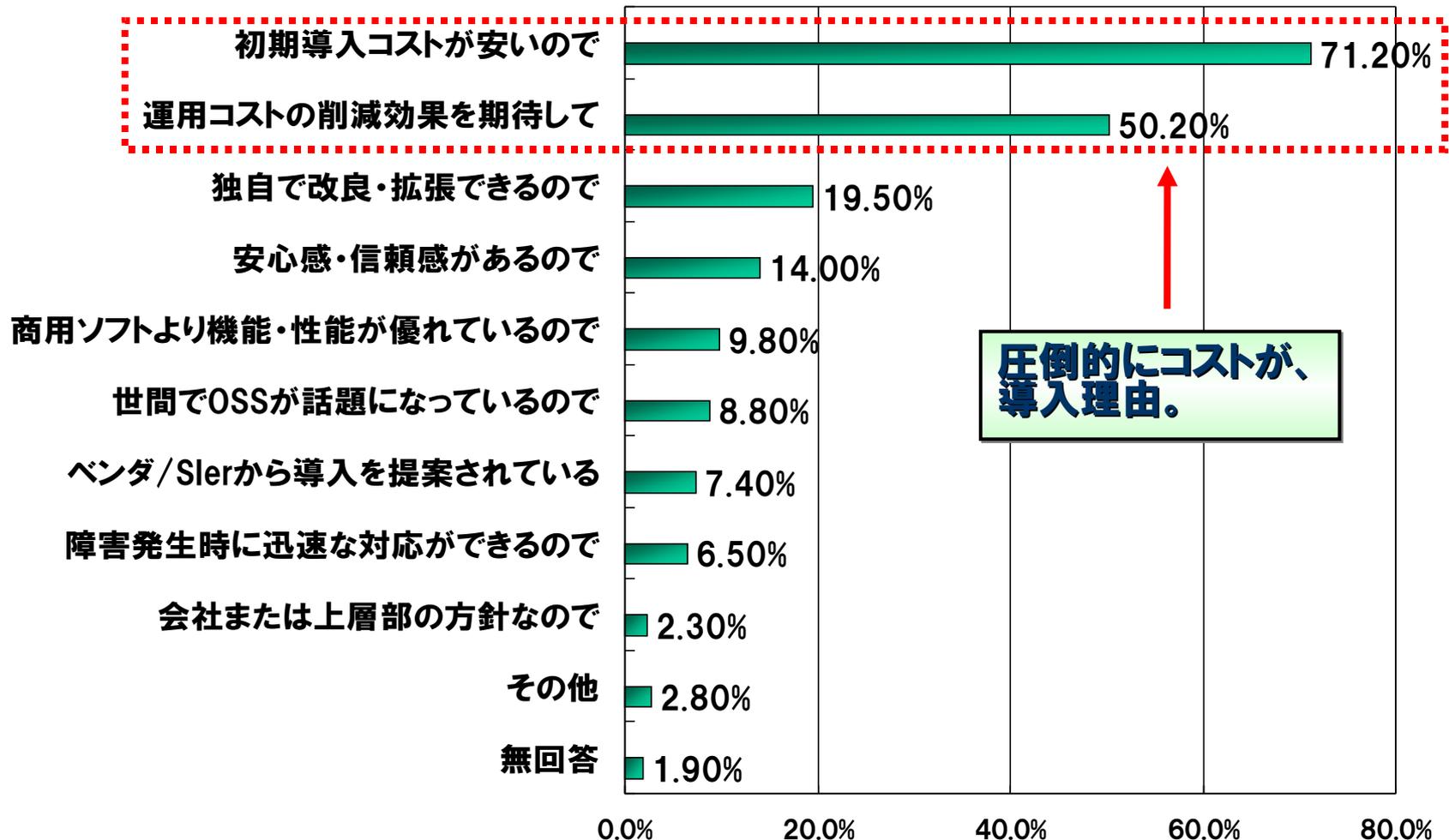


状況次第では、さらに増加の可能性も

(出典:Linux白書2006)

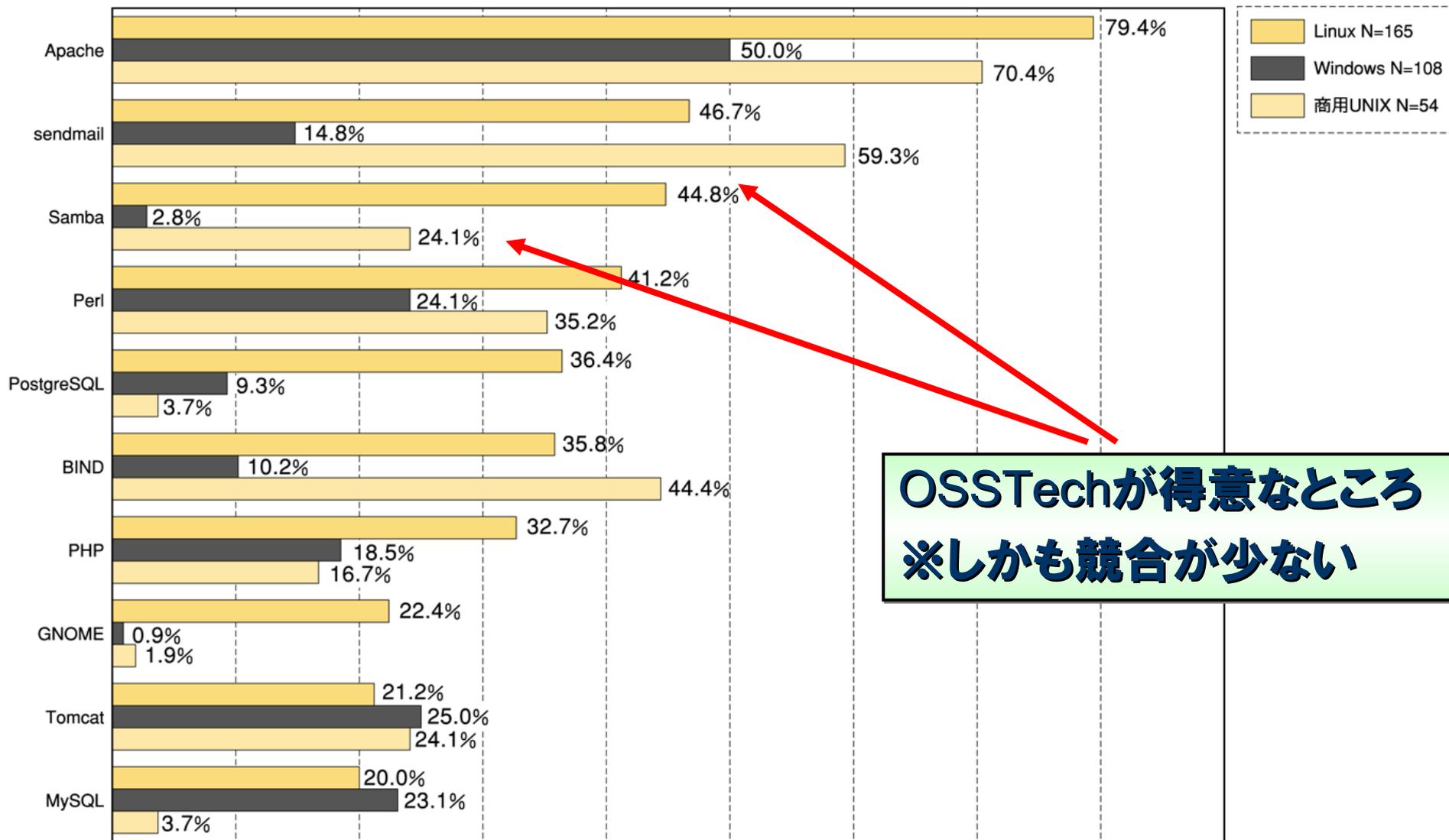
## オープンソースソフトウェアを導入したい理由

(出典:Linux白書2006)



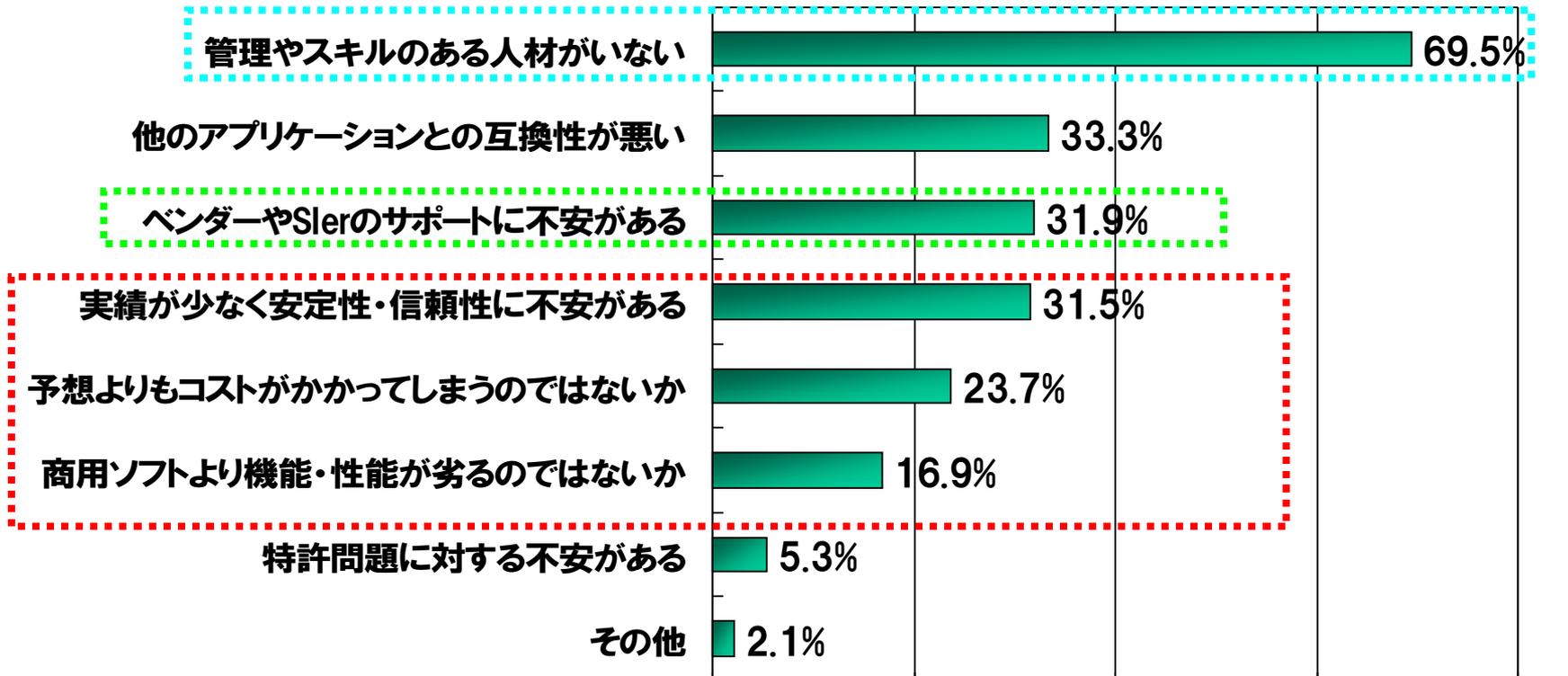
# OSS市場動向(3)

資料1-6-44 サーバーOS別利用しているオープンソースソフトウェアの種類



## オープンソースソフトウェアに対する問題点や不安

(出典: 矢野経済研究所「Linux/OSSのユーザ導入実態調査2006」)



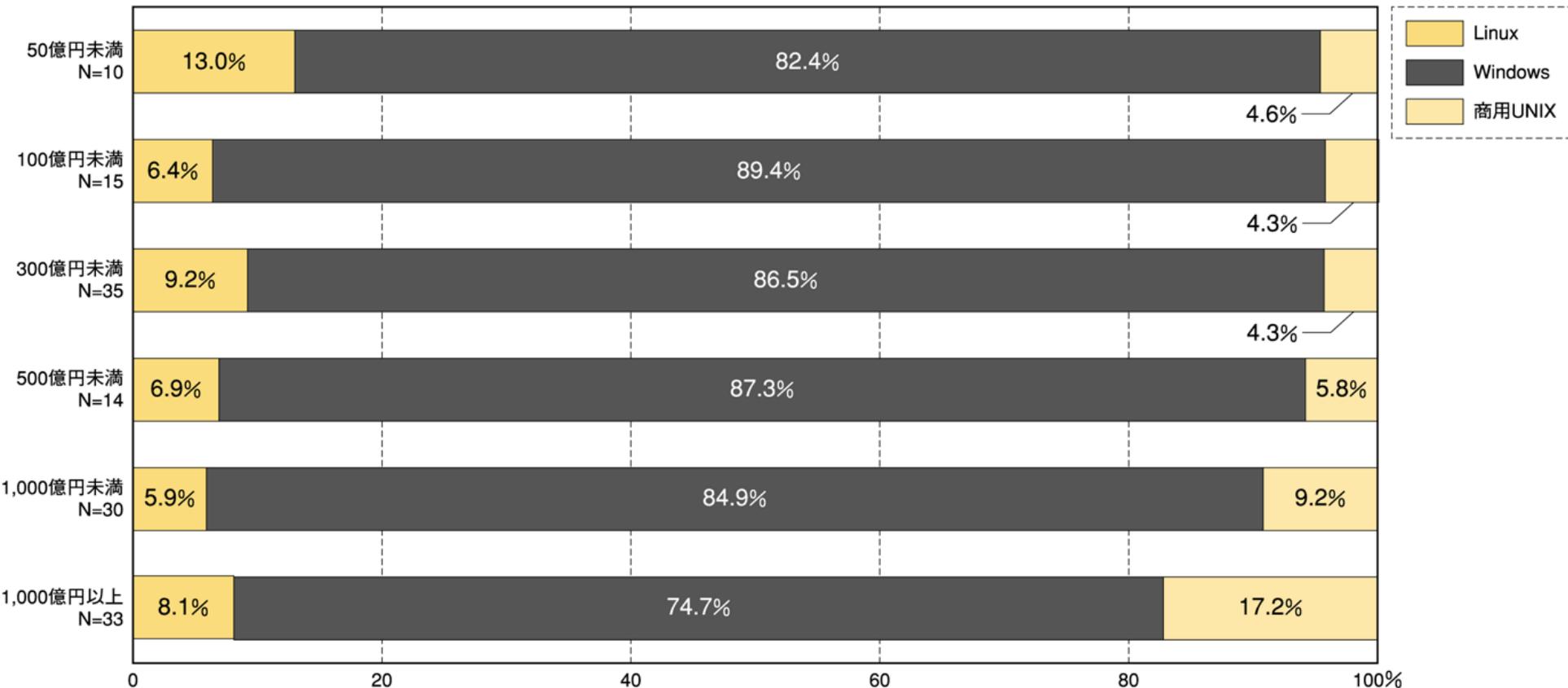
人材不足に  
対する不安

サポートに  
対する不安

OSSそのものに  
対する不安

## 商用Unix上のOSSも普及しつつある。 (Unix上のOSSもビジネスチャンスがある)

資料1-6-40 社内の全サーバーにおける各OSの台数比率 [年商別]



# オープンソースビジネスの現状



**OSSTech**

# オープンソースビジネス

初期段階：マニアのためのビジネス

- Linuxディストリビューションの誕生

第2段階：プロフェッショナルサービス化

- インストール、テクニカルサポート、コンサルティング

これから：競争に勝つためのオープンソース

- オープンソースアドオン製品(管理ツールや設定ツール)
- 機能拡張(セキュリティ対応などの機能拡張)
- ハイブリッド製品(SambaとLDAPを組み合わせる)

# OSS(当社の)収益モデル

<p>ライセンス料</p>	<p>Dual Licencing  <b>Community Version</b>          Commercial Version</p>	 <p>サービスによる収益</p>
<p>技術サポート</p>	<p>電話、E-Mail、 遠隔ログイン</p>	
<p>トレーニング</p>	<p>教室、 E-Learning</p>	
<p>コンサルティング</p>	<p>分析・設計 チューニング</p>	

# 現在のOSSビジネスモデル

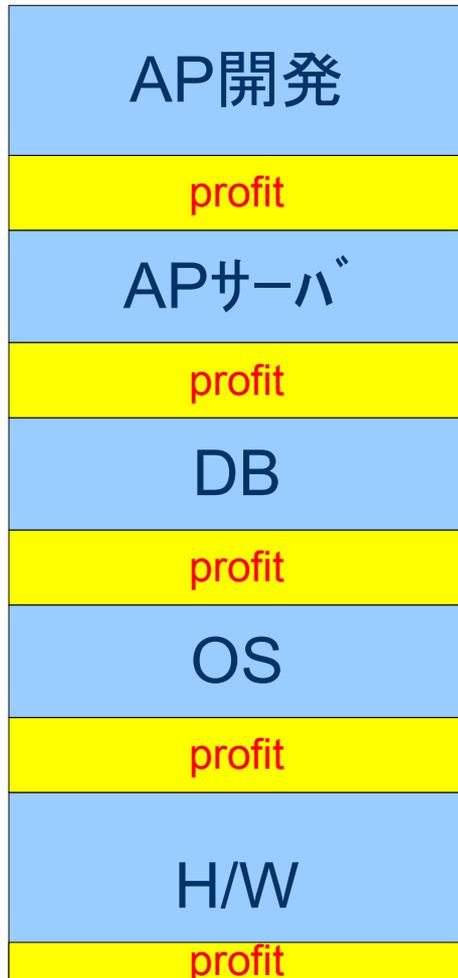
- ディストリビューション型（製品販売）
  - Red Hat, Novell SuSE, MIRACLE, Turbo, Monta Vista
  - オラクル、サイオス, SRAOSS(PostgreSQL), MySQL
  - NEC, 富士通, 日立(SpikeSource)
- SIer型（システム構築手数料）
  - NRI(OpenStandia)、電通国際
- SaaS型（サービス利用料）
  - SugarCRM, OpenPNE(手嶋屋)
- 単体ビジネスで儲けるのは難しい
  - ハイブリッド型で工夫する必要がある
  - 他社とどう差別化するのか？

# これからのOSSビジネスの勝者は誰か？

- スタックソリューション型  
(H/Wからアプリまですべて提供) 製品販売)
  - IBM, Sun, Oracle
  - 商用製品にスタックからOSSによるスタック  
(製品のOSS化、無償化: Solaris, DB2, WebSphere)
  - 個々の製品での利益率が低下しているので  
多くのソリューションを多く用意したものが勝つ
  - M&Aの活発化
    - JBOSSをRedHatが買収
    - innodb, bdbdをOracleが買収
    - MySQL社のSunによる買収

# これからのOSSビジネスの勝者は誰か？

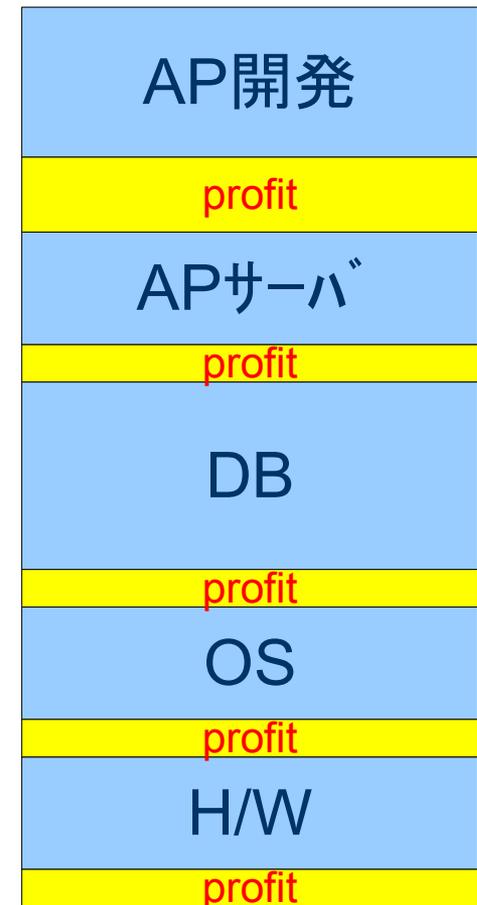
## 商用プロダクトビジネス



## Linuxビジネス



## OSSビジネス



## 特集:「新・基幹系」をOSSで創る!

表●主なOSSのサポートサービス

提供企業	サービス名称	内容
NEC	SpikeSourceコアスタック	米スパイクソースが構成したOSSスタックで、年額39万円から。このサービスのほか、大規模システム向けに商用製品とOSSを組み合わせたサービス*1も提供
SRA OSS 日本支社	PostgreSQL/PowerGres サポート&保守サービス	「PowerGres」は同社によるPostgreSQL改良版。年額42万円から。このほかにスタック化した「PowerGres Application Server」も提供。年額78万円から
オープンソース・ ソリューション・テクノロジ	Samba 国際化版、OpenLDAP	前者はファイルサーバー、後者はディレクトリサービスのOSSで、前者は独自の日本語対応パッチを当てている。料金は両者ともに年額24万円から
サイオステクノロジー	サイオス OSS よろず相談室	40種類以上のソフトを対象にした問題解決サービスで、2007年6月に開始。年額30万円から。このほかに個別のソフトを対象にしたサポートなども提供
住商情報システム	MySQL Enterprise、 XenEnterprise	前者はMySQLを対象にしたサービス。2007年5月から日本語検索を早めた「Senna 組み込み版」を年額15万6000円からで提供。後者は仮想化ソフト「Xen」向け
電通国際情報サービス	Seasar2サポートサービス	Java開発フレームワーク「Seasar2」の商用サポート。「バージョン固定」と「最新バージョン」の2種類を用意。年額30万円から
日本IBM、ノベル	Integrated Stack for Linux	2社協業による中小企業向けスタックで、LinuxにOSSのミドルウェアなどをセット。年額4万3880円と安価。IBMは「Eclipse」など自社が公開したソフトのサポートも提供
日本ヒューレット・パッカード	HP Open Source Middleware Stacks	HP製サーバーを対象に提供しているOSSスタック。「JBoss」では、米法人と専任サポートエンジニアとの協調体制を構築
野村総合研究所	OpenStandia	最大十数種類のソフトにサポートを付加したOSSスタック製品。年額35万円から。このほかに緊急時のトラブル対応を請け負うサービスなども提供
日立製作所	かんたんOSS導入サービス	約10種類のOSSを対象にしたスタックで、「Webサーバー向け」「DBサーバー向け」など4種類の用途でメニュー化。年額50万4000円から
富士通	「OSS技術支援センター」での サポートサービス	富士通製サーバーを対象に、約10種類のOSSや米スパイクソースのスタックなどをサポート。料金は案件ごとに個別見積もり

\*1 エンタープライズLinuxソリューション for MC

# OSSビジネスで儲けるにはどうすべきか？

- 欧米中心のビジネスからの脱却
  - 海外のOSSベンダにお金を払っては意味がない。
  - 安いOSSを仕入れては儲かる訳ない
- 高い技術力の保有
  - 欧米から技術を買うのではなく、自分で手に入れる
  - コミュニティやメディアとの上手な連携
  - 費用をかけずに宣伝したり、SEO対策を行う
- ライセンスではなく、サービスを中心とした収入
  - 物を右から左に動かすだけでお金にならない
  - ユーザ満足度をお金に結びつける

# OSSTech社のビジネス戦略

- OSS製品の販売とサポート、プロフェッショナル サービスを提供する業界トップエンジニア集団になる
- 少数精鋭
- 特定分野(認証統合とOSS)に特化
  - OSに依存しない
- 広告にお金をかけない
  - 雑誌記事やネット記事を書いてお金をもらう
  - 社員皆でブログを書く
  - お金をかけずにSEO(検索エンジン最適化)対策
- 製品開発
  - OSSベースに開発(安価、短期間、高機能)
- サポート
  - ソースコード修正、ダンプ解析まで(昔の日本メーカー並?!)
- 教育
  - 初心者向けはやらない、上級者向け高額コースを中心に

# 事例紹介

## 大学や官公庁で広まるOSS導入

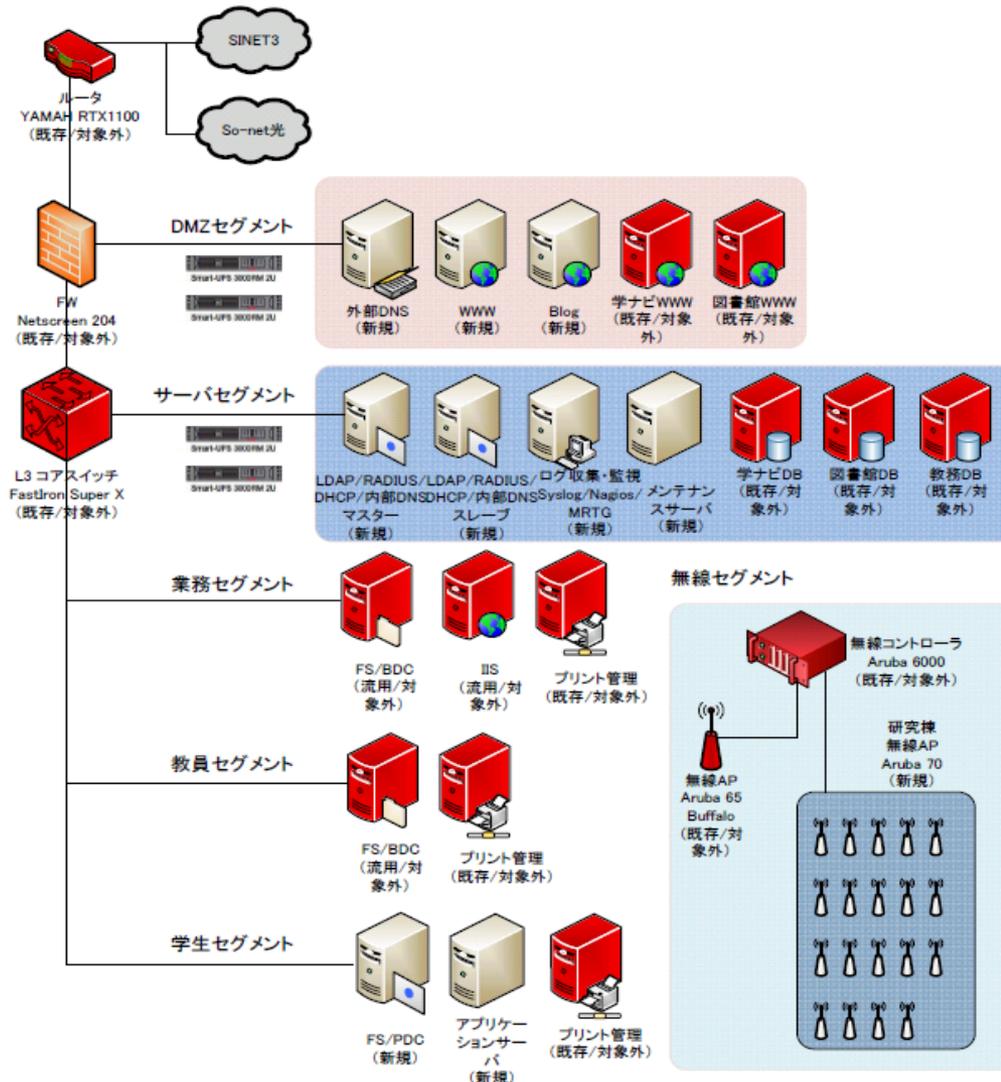


**OSSTech**

# 嘉悦大学構築事例

- リプレースにあたる新規導入部分をOSS(オープンソース・ソフトウェア)のみで構築し、ソフトウェア購入費用をゼロ円に抑えた
- 学校法人嘉悦学園嘉悦大学の情報インフラ基盤概要
  - オペレーティング・システム:CentOS (無償のLinux OSです)
  - システム認証基盤:OpenLDAP (VPNのためのRadius認証にも利用)
  - Windowsクライアント向け認証基盤およびファイルサーバ:Samba (既存Windows Active Directory環境のユーザ/グループ情報を移行し、置き換えました)
  - メール送信サーバ:Postfix
  - メールング・リスト・サーバ:Mailman
  - Webサーバ:Apache , PHP
  - ブログソフト:WordPress
  - データベース:MySQL
  - 運用監視サーバ:Nagios , Syslog-ng
  - DNSサーバ:Bind
  - サーバマシン:DELL PowerEdge2950を9台

# 嘉悦大学構築事例



**システム認証統合事例紹介**  
**官公庁・自治体からはじまった**  
**OSSによる基幹システム構築**



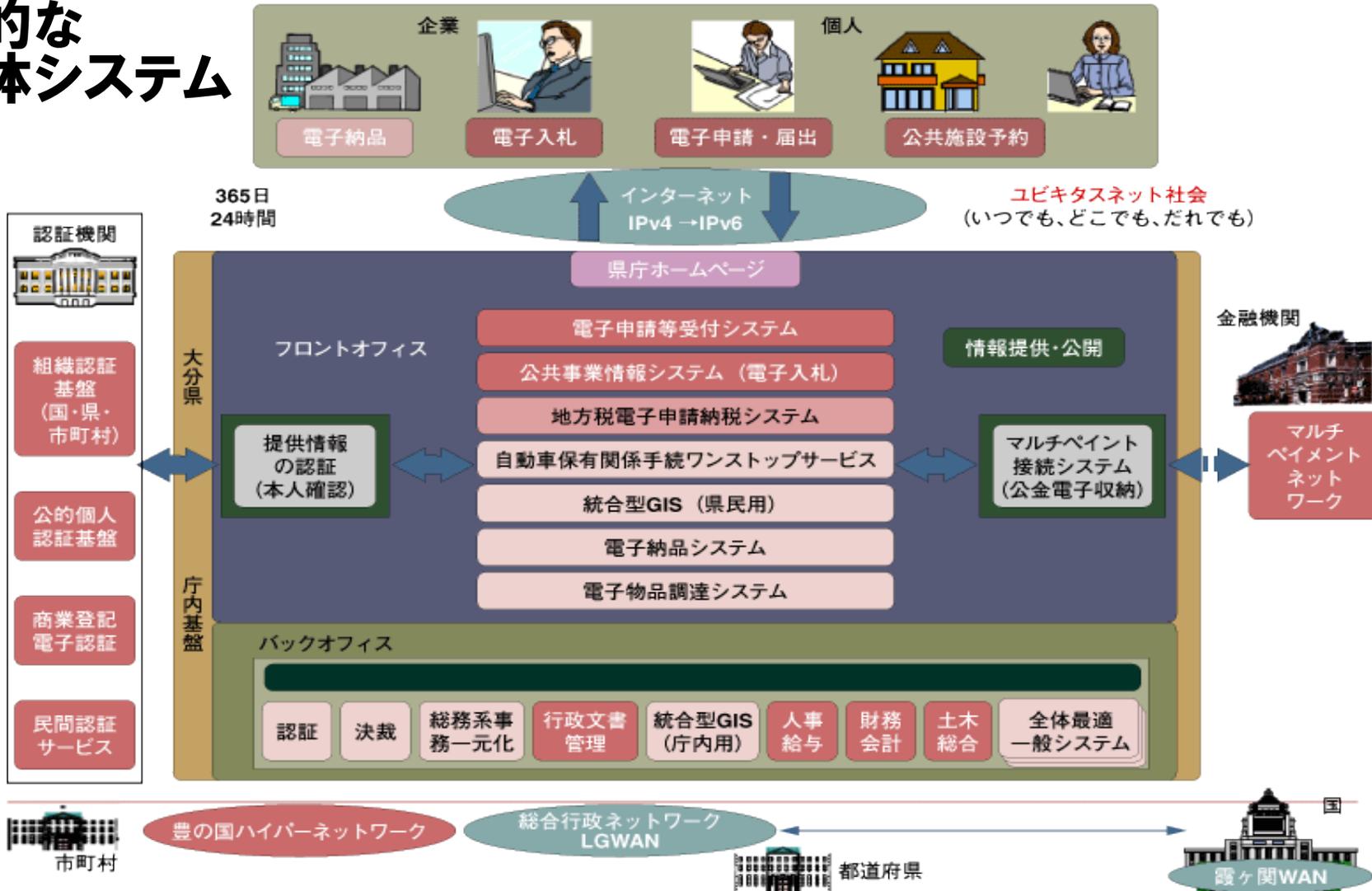
**OSSTech**

## システム概要

- OSSを使った認証基盤構築事例として、大分県庁の実証実験システムを取り上げます。
- このシステムはIPA(独立行政法人 情報処理推進機構)の公募事業「自治体基盤システムでのオープンソースソフトウェア(以下、OSS)活用に向けての導入実証実験」として構築されました。
- この公募事業は、OSSが自治体の基幹システムとしてどこまで使えるか実証実験しよう、という取り組みです。
- 参考) IPA実証実験報告ページ
- <http://www.ipa.go.jp/software/open/oss/2006/stc/report/oita.html>

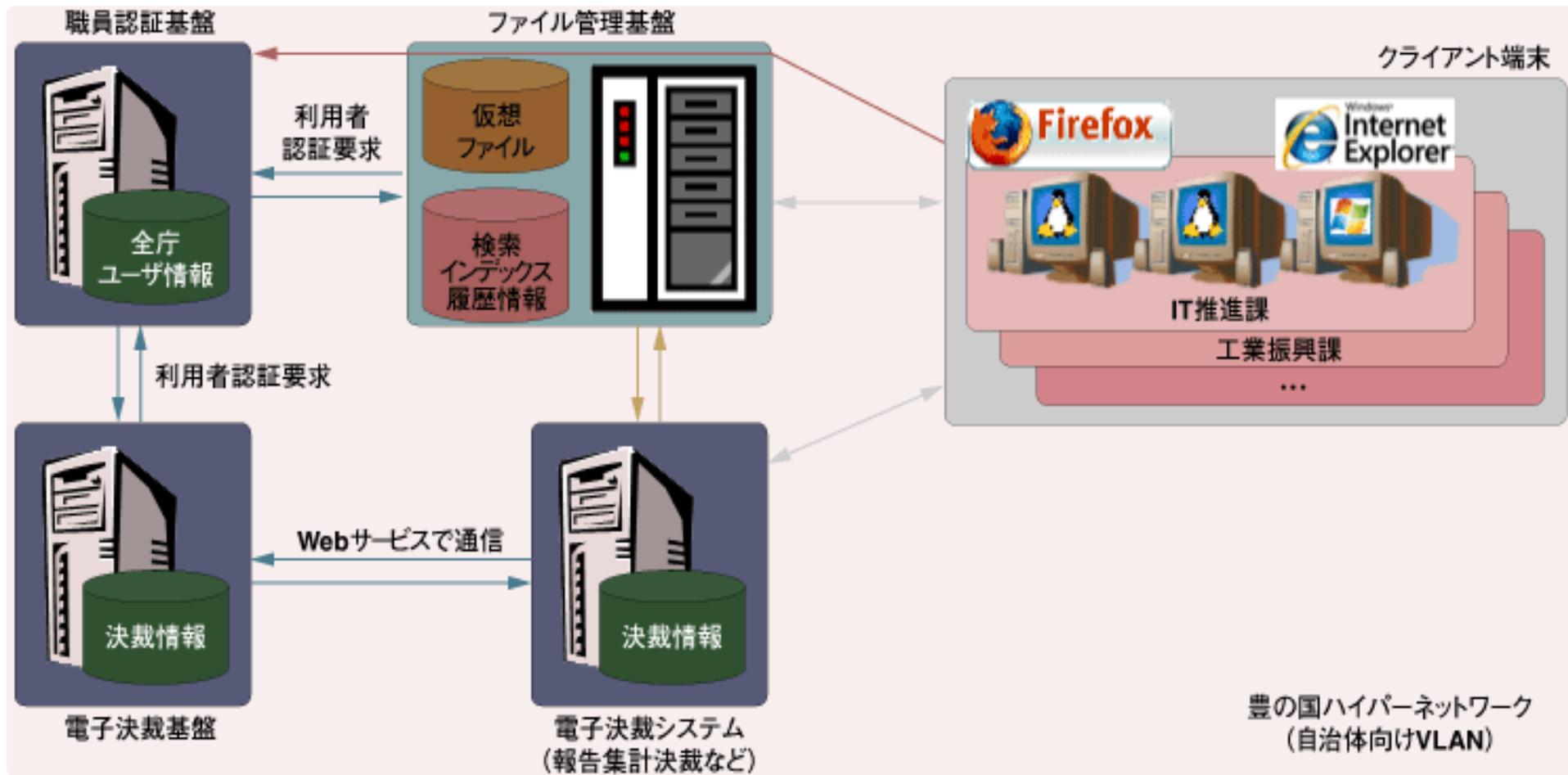
# 大分県庁システム概略

## 一般的な自治体システム



# 実証実験で構築したシステム

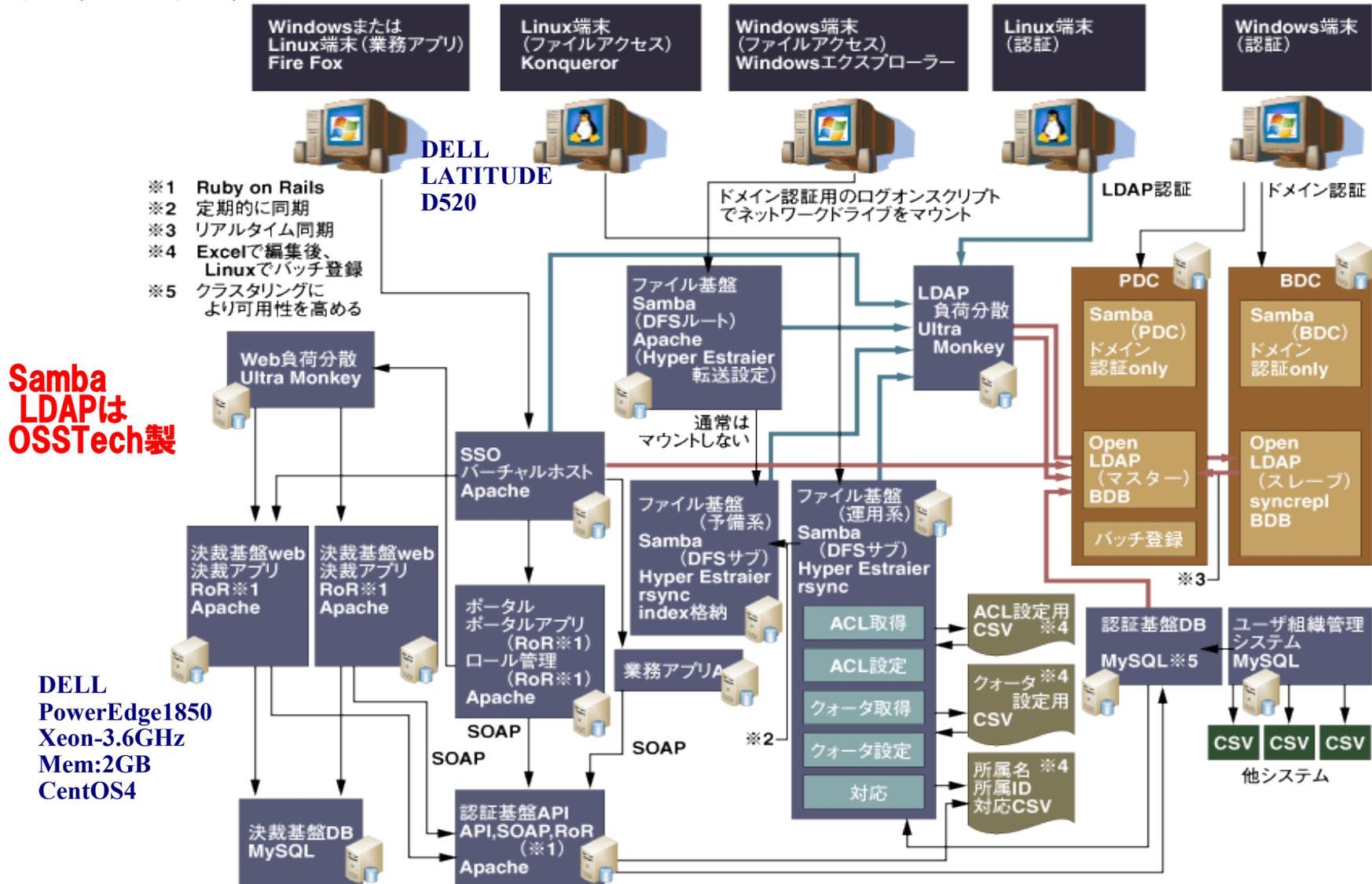
- ファイルサーバ／アプリケーションサーバおよび Windows / Linux の認証統合を実現



# システム要件と実装方法

システム	必要機能	実装方法
職員認証基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>Linuxによるディスクレス・シンクライアントの導入</li> </ul>	KnoppixをベースとしたCDブートLinuxをデスクトップ環境として利用
	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSSのWebブラウザで業務を実行</li> <li>OA業務はOpenOfficeで実行</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記Linuxクライアントの統合認証基盤</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のWindowsクライアントからも利用できること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SambaとOpenLDAPによるWindowsドメインを構築し、ドメイン認証を構築する</li> <li>WindowsクライアントはSambaドメインに参加し、ユーザはドメインログオンをする</li> <li>LDAPに登録したユーザ、パスワードでデスクトップにログインする</li> <li>OpenLDAPに登録してあるユーザならどの端末でも利用可能にする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webベースの業務システムでは、ユーザが一度サインオンしたら、その後の他システムへのアクセスは認証なしでアクセスできる、いわゆるSSO（シングルサインオン）の機能を有すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証基盤としてOpenLDAPを利用し、認証はApacheのシングルサインオンモジュール（独自のmod_sso改造版）にて実装する</li> <li>すべての業務システムをこのシングルサインオンシステムのリバースプロキシ配下に置く</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁職員5000人の利用に耐えるパフォーマンスを持つこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSSのクラスタソフトUltra Monkeyを使って負荷分散クラスタを構築</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の拡大や負荷増大に耐えられるようにスケールアウト可能な構成にすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OpenLDAP+Samba+Apacheをクラスタ構造とすることにより実装する</li> </ul>
	電子決裁基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webブラウザにより複数のシステムから共通に決裁基盤を利用できること</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>決裁文書としてファイルの受け渡し機能を有すること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Webサービスを用い、添付ファイル送受信が出来るインターフェースを実装</li> </ul>

# 実証実験でのシステム構成



## 実証実験で発生した問題(OSやOSS部分のみ)

- OSはCentOS4 (=RHEL4) を利用
- OS標準のSamba 3.0.10ではLDAP連携で機能が不足だったり、品質が十分でないためOSSTech社製Samba 3.0.24国際化版を利用
- OS標準のOpenLDAP 2.2.13では高負荷に耐えられず、クラッシュしたり、クラッシュ後DBリカバリできないなどの障害が発生したためOSSTech社製OpenLDAP 2.2.30を利用
- SambaとLDAPを最新OSSTech社製品を使うことで同時5000ログオンも問題なく検証できた。
- 弊社実績では2万ユーザオーバーもある。

# Sambaユーザ動向と事例

**ファイルサーバも時代と共に  
活用方法が変わる！**



**OSSTech**

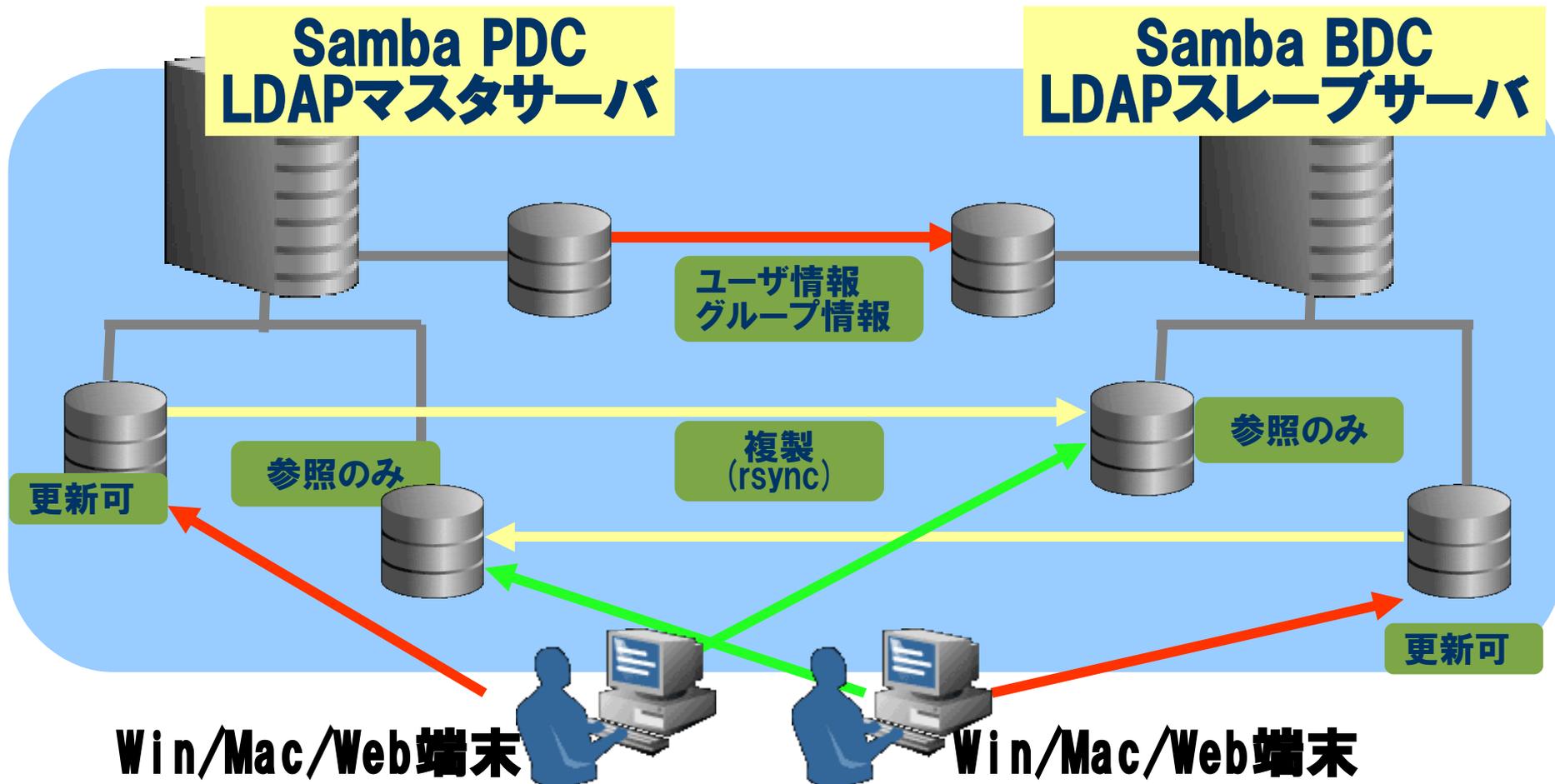
# ファイルサーバを取り巻く環境変化

- サーバH/Wの高性能化、低価格化
- ディスクの大容量化、低価格化
  - 高信頼のSCSIディスクよりも低価格のATAディスクを選択するケースが増えてきている
    - ファイルサーバのディスク故障率増加
    - RAID5にしても故障時の自動修復に時間がかかる
    - RAID5では自動修復中にもう1台壊れると修復できない
  - ディスク故障時の損失金額・時間も増大
- ファイルサーバをバックアップするためのコストが増加
  - 従来のテープ装置ではバックアップできない
  - 必要なテープ本数が増える、時間がかかる
- バックアップ装置とテープはディスクほど安くなっていない

# ファイルサーバ構築方法の変化

- 専用のバックアップ装置を買う費用もサーバをもう1台買う費用もあまり変わらない
  - サーバもう1台購入の方が安い場合もある
- テープバックアップよりもディスクコピーを選択するユーザ
- 同じ構成サーバを2セット用意し、rsyncを使ってコピー
- 双方向にすれば簡易クラスタ構成可能
- インターネット高速化やVLANの低価格化により、遠隔地バックアップも安価に実現可能になった
- OSとしてCentOSやSolaris 10を使うユーザが増えた
  - CentOSはパッチ入手無償、Solaris 10も4万円未満

# 安価な簡易クラスタシステム構築例



# 某音響機器メーカー様 統合ファイル・サーバーのシステム構成図



**Samba PDC  
LDAPマスターサーバ**

**Samba BDC  
LDAPスレーブサーバ**

BaseLAN

約  
1.2TB

約  
1.2TB

**Windows端末  
Mac端末**

■統合ファイル・サーバー(正)

PE1950\*1  
OS:None  
CPU:Xeon DualCore 3.0GHz\*1  
MEM:2GB  
HDD:SAS 146GB (15k)\*2 (RAID1)  
NIC:2Port  
ETC:FDD/DVD-ROM  
|  
PVMD1000\*1  
SAS 300GB (15k)\*6 (RAID5+HS)

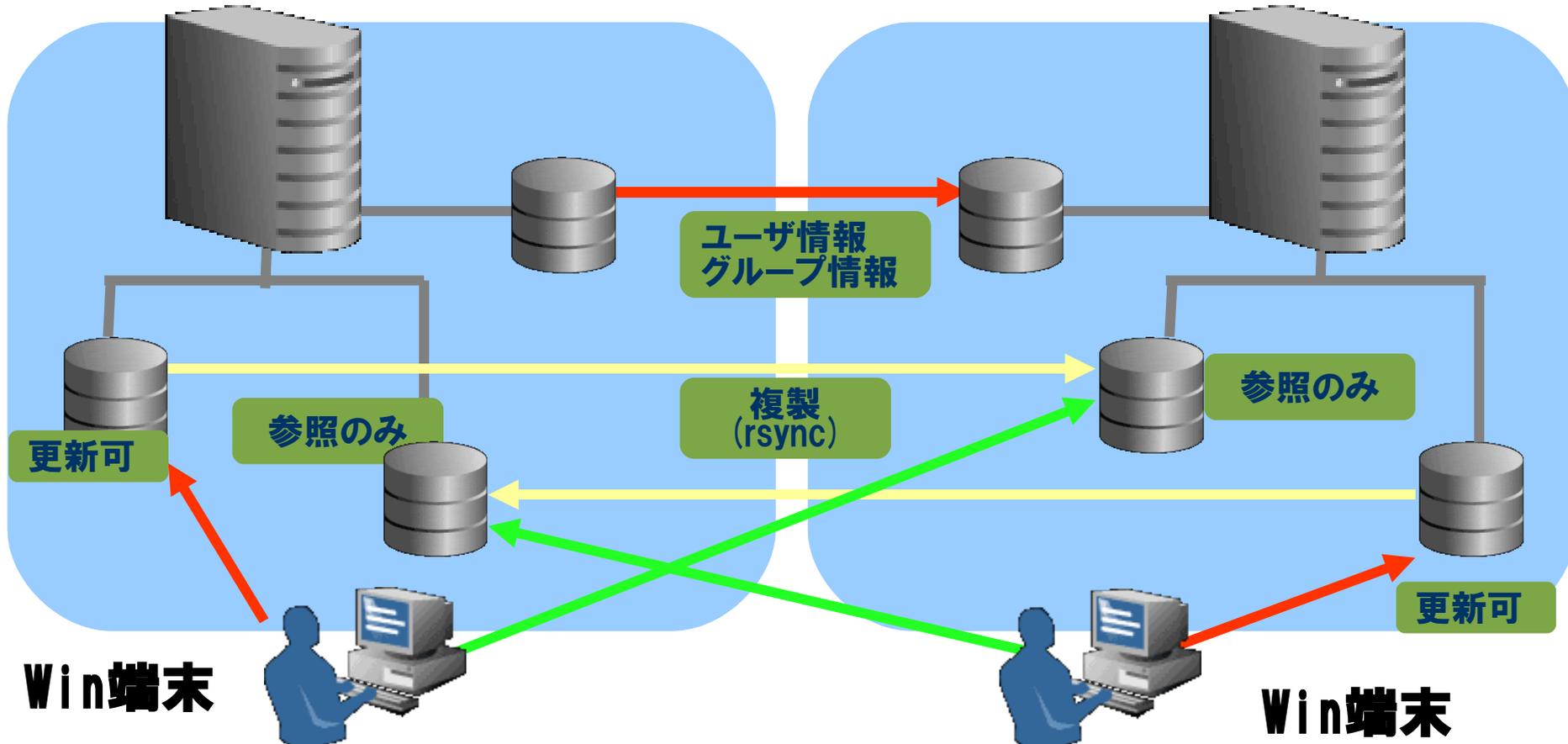
■統合ファイル・サーバー(副)

PE1950\*1  
OS:None  
CPU:Xeon DualCore 3.0GHz\*1  
MEM:2GB  
HDD:SAS 146GB (15k)\*2 (RAID1)  
NIC:2Port  
ETC:FDD/DVD-ROM  
|  
PVMD1000\*1  
SAS 300GB (15k)\*6 (RAID5+HS)

# 遠隔地双方向バックアップ: 通常運用時

東京: Samba PDC  
LDAPマスターサーバ

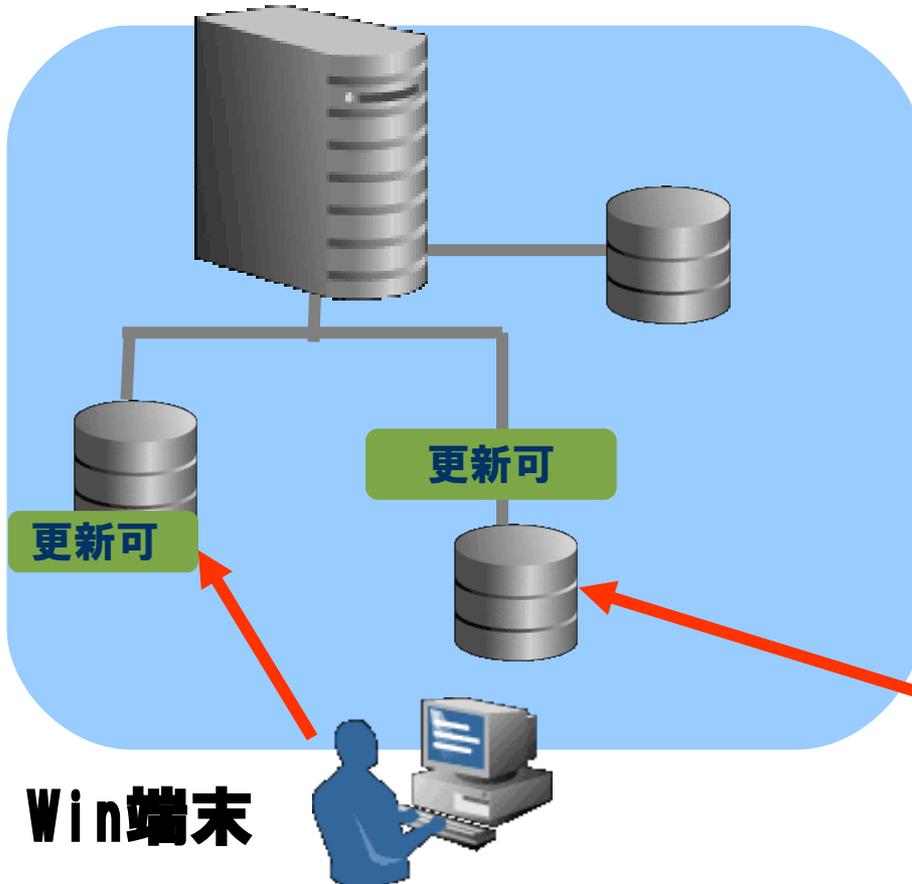
大阪: Samba BDC  
LDAPスレーブサーバ



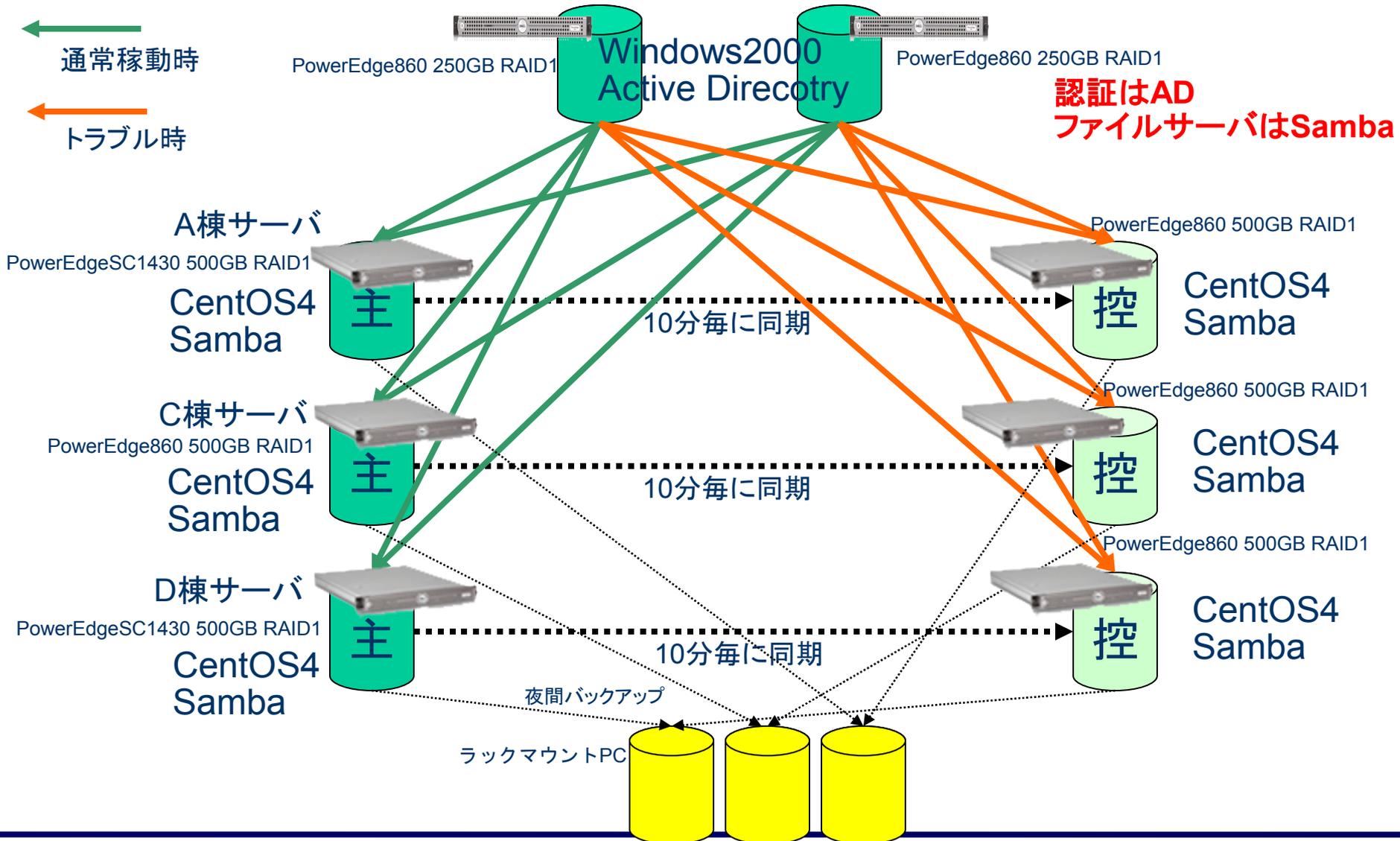
# 大阪サーバ障害時

東京:Samba PDC  
LDAPマスターサーバ

大阪:Samba BDC  
LDAPスレーブサーバ



# サンアロー株式会社様 <http://www.sunarrow.co.jp>



# OSSTech 製品紹介

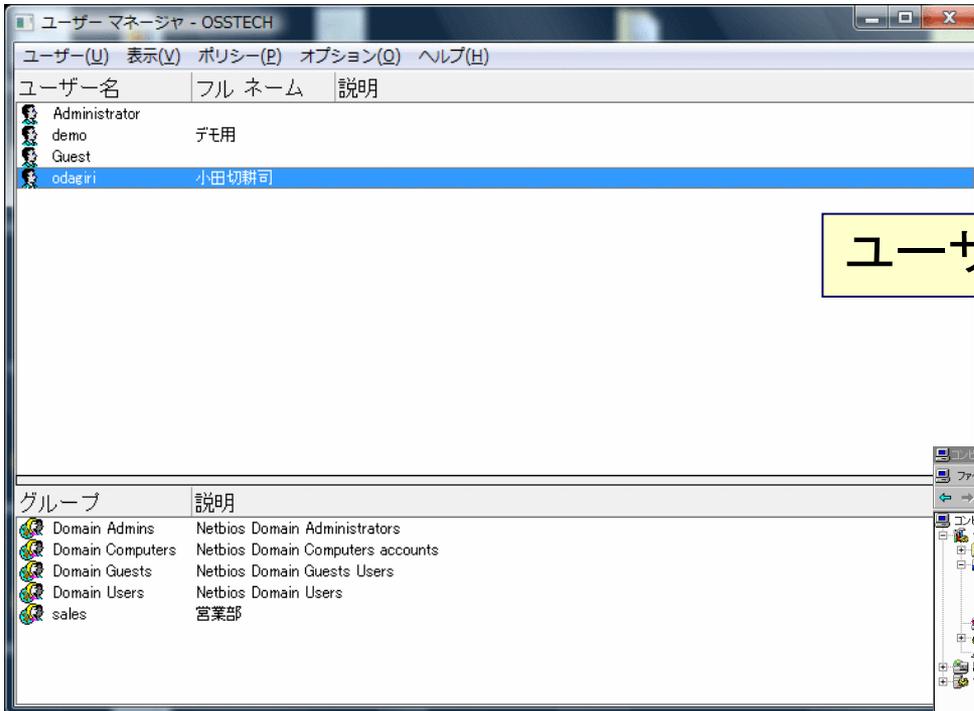


**OSSTech**

## Samba 3.0.24 for Solaris/Linux

- Windows Vista / Mac OS X対応
  - JIS2004対応、合成文字UTF-8-MAC対応
- OpenLDAPだけでなく、商用LDAP製品にも対応
- Solaris版/Linux版向けsmbldap-toolsを同梱
  - LDAPへのユーザ／グループ登録がコマンドで可能
  - 大量一括登録可能
- SolarisもLinuxもAD認証統合
- オリジナルのさまざまな不具合を修正
- WindowsからGUIでユーザ管理可能

# Windows GUIでSambaが管理できる！



ユーザー マネージャ - OSSTECH

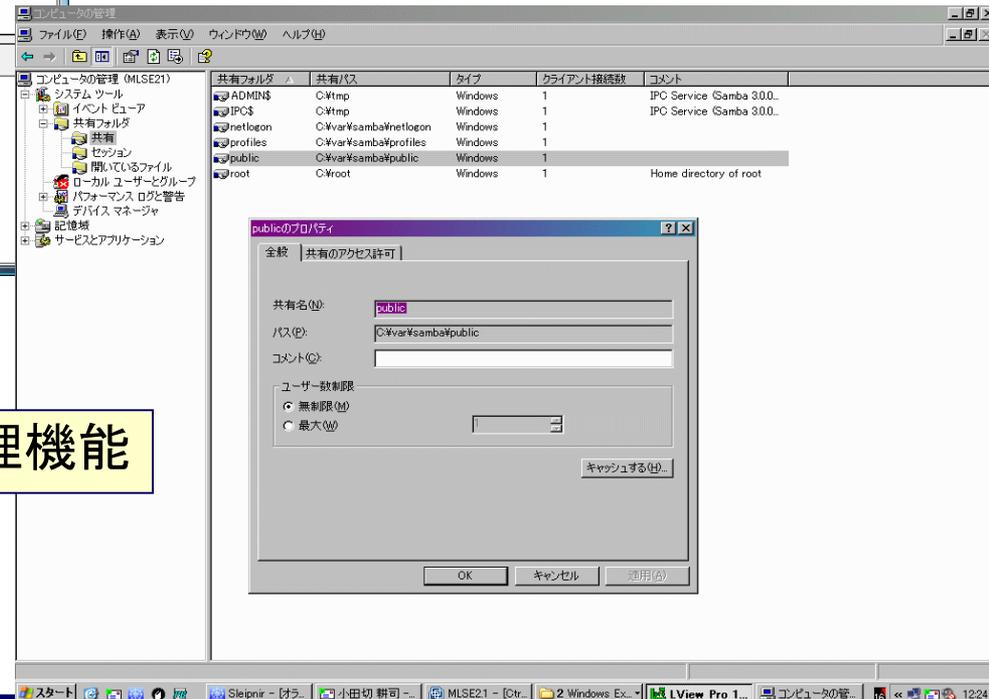
メニュー: ユーザー(U) 表示(V) ポリシー(P) オプション(O) ヘルプ(H)

ユーザー名	フルネーム	説明
Administrator		
demo	デモ用	
Guest		
odagiri	小田切 研司	

グループ	説明
Domain Admins	Netbios Domain Administrators
Domain Computers	Netbios Domain Computers accounts
Domain Guests	Netbios Domain Guests Users
Domain Users	Netbios Domain Users
sales	営業部

ユーザ管理機能



コンピュータの管理

共有フォルダ

共有フォルダ	共有パス	タイプ	クライアント接続数	コメント
ADMIN\$	C:\tmp	Windows	1	IPC Service (Samba 3.0.0..
IPC\$	C:\tmp	Windows	1	IPC Service (Samba 3.0.0..
netlogon	C:\var\samba\netlogon	Windows	1	
profiles	C:\var\samba\profiles	Windows	1	
public	C:\var\samba\public	Windows	1	
root	C:\root	Windows	1	Home directory of root

publicのプロパティ

共有の名前: public

パス(P): C:\var\samba\public

コメント(C):

ユーザー数制限

無制限 (M)

最大 (M)

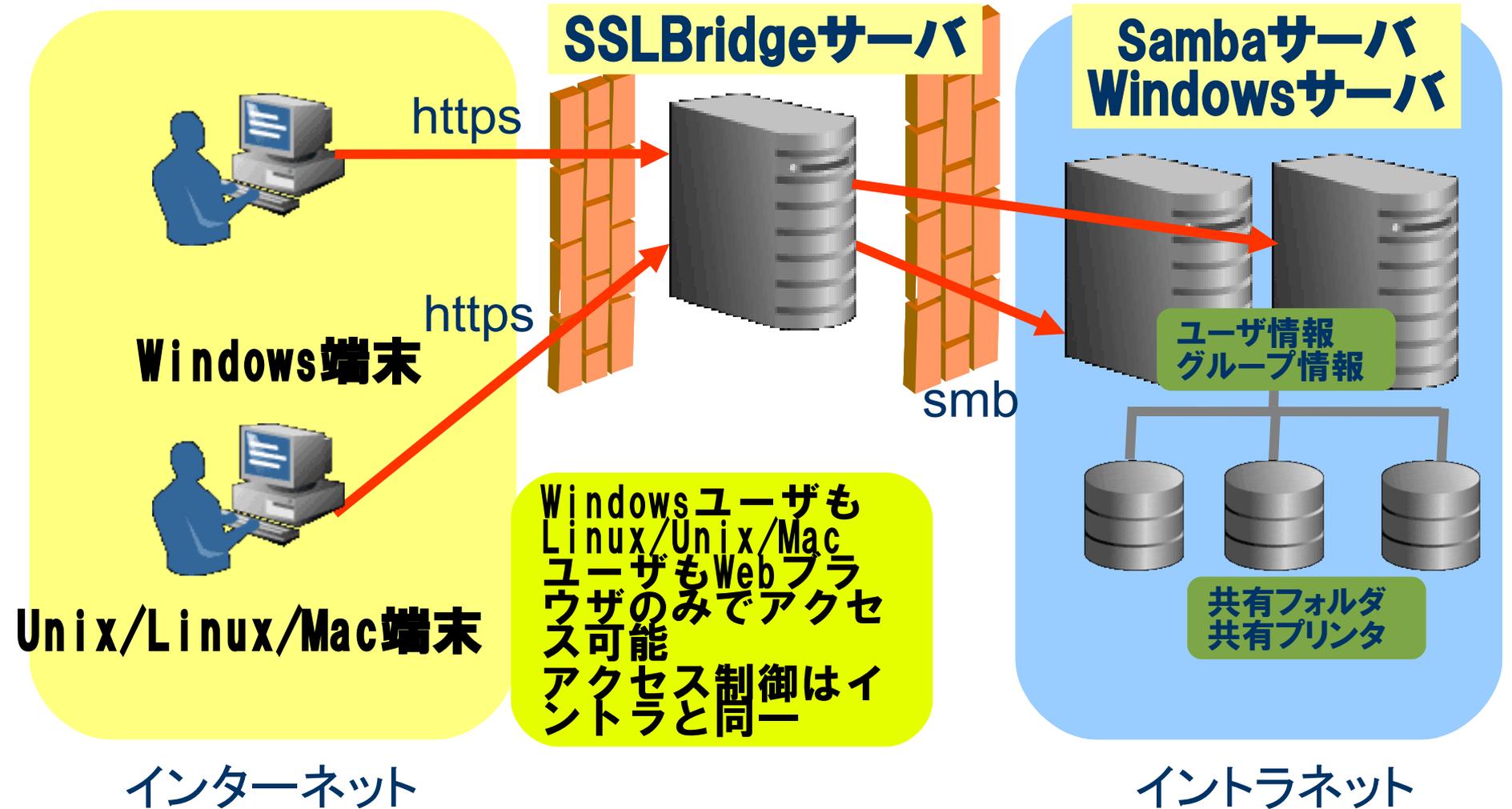
OK キャンセル 適用(A)

共有管理機能

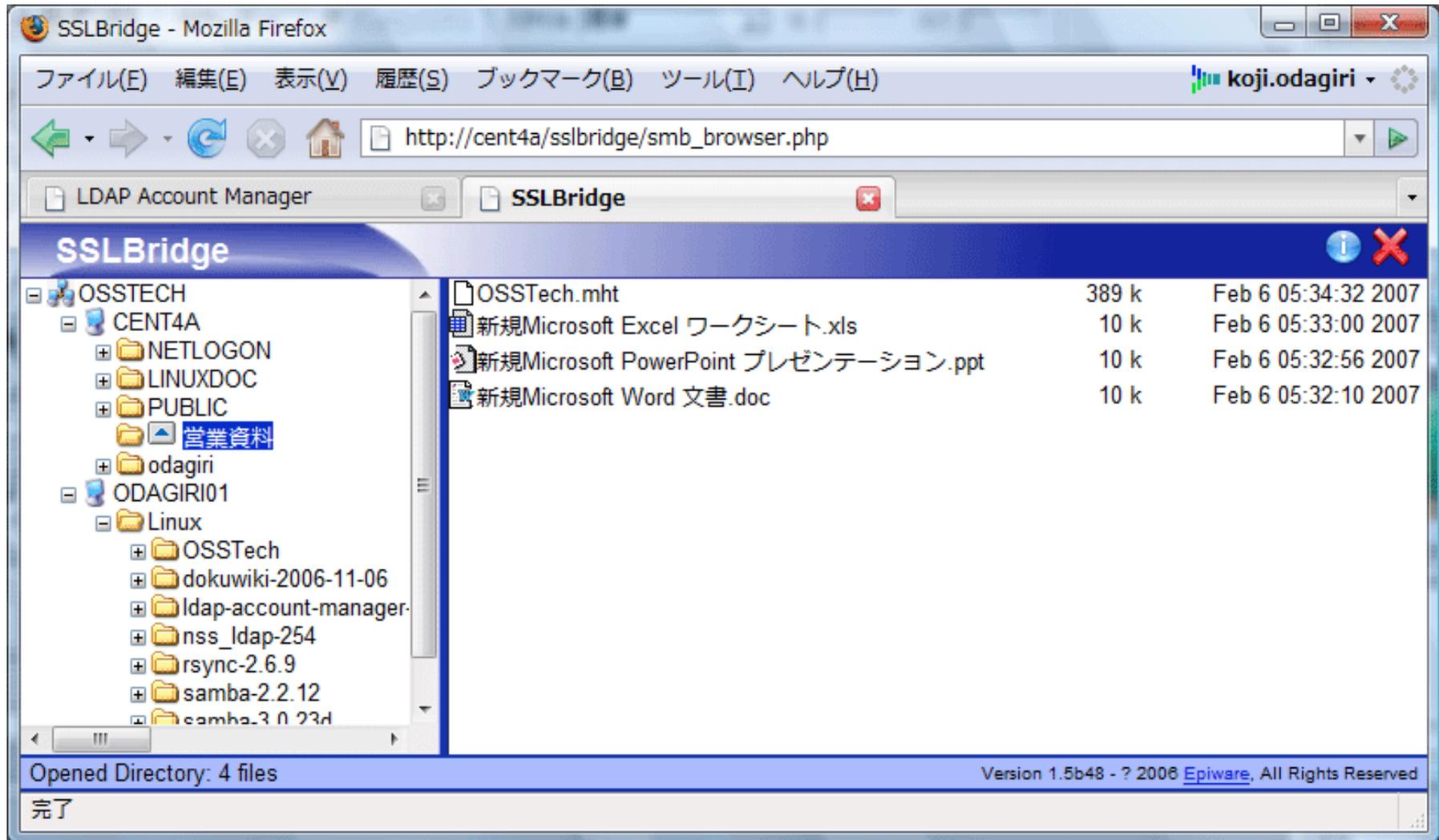
## OpenLDAP 2.2.30 / 2.3.32 for Solaris/Linux

- デフォルトでOpenLDAP2.2は最大1024しか同時接続できないがOSSTech製は1万6千接続まで拡張
- BDBを最新化し、DBが壊れたり、リカバリできない不具合を修正
- Solaris Java Directory Serverは同一マシン上にLDAPクライアントとサーバが同居できないが、OpenLDAPは同居可能
- クライアントに比例するライセンス費用がないため、大規模システムでも低コストで構築・運用可能

# SSLBridgeによるリモートアクセス



# SSLBridge : Windowsファイルサーバへ Webブラウザでアクセス



# LAM:LDAP Account Manager

- Solaris 10 / Red Hat EL 4 / CentOS 4対応
- Https経由のWebクライアントからLDAPを管理可能
- プロファイルを変えることで分散管理を可能にする



LDAP Account Manager

リフレッシュ <=> 4名のユーザが見つかりました 1

	ユーザID	(姓でない)名	姓	UID番号	GID番号
<input type="checkbox"/>	Administrator		Administrator	0	0
<input type="checkbox"/>	demo	demo	demo	1000	513
<input type="checkbox"/>	Guest		Guest	999	514
<input type="checkbox"/>	odagiri	耕司	小田切	1003	513

リフレッシュ <=> 4名のユーザが見つかりました 1

GID番号をグループ名に変換:  適用

新しいユーザ ユーザを削除

# オープンソースの全文検索システム Chimera Search: キメラ・サーチ

Windowsファイルサーバーのアクセス権対応  
アクセス権のないファイルは検索結果に表れない



# Chimera Searchとは

- SMBプロトコル、CIFSプロトコルをサポートしたサーバーであればWindowsマシン、Linux/UNIX/Mac OSマシンのコンテンツを検索できます。
- 検索結果にユーザーがアクセス権を持たないファイルは表示されません。ファイルにアクセス権を適切につけておけば、検索でファイルの存在自体を知られる心配がありません。
- 構築コンポーネントに以下のOSS(オープンソースソフトウェア)を利用しているため、安価に導入できるのに高性能・高機能を発揮します。
  - プログラム言語: RubyおよびRuby On Rails
  - 全文検索システム: Hyper Estraier以下の特長を持っています。
  - インデックスを使った高速な検索ができます。
  - 大量の文書のインデックスを短時間で作成できます。
  - N-gram方式による漏れのない検索ができます。

# 製品仕様

- 検索対象サーバー

- Chimera Searchはネットワークに接続された以下のファイルサーバーを検索できます。  
※アクセス権によって検索結果が制御されますので、すべての検索対象サーバーは単一のWindowsドメインや相互に信頼関係を結んだWindowsドメインで構成されているのが望ましいでしょう。
- Windowsファイルサーバー
- Sambaベースのファイルサーバー

- 検索対象ファイル

Chimera Searchはファイルサーバー内の以下のファイルを検索できます。

- マイクロソフトオフィス Wordファイル
- マイクロソフトオフィス EXCELファイル
- マイクロソフトオフィス PowerPointファイル
- OpenDocument ファイル (OpenOffice.org, Sun StarSuite)
- PDFファイル
- HTMLファイル
- テキストファイル

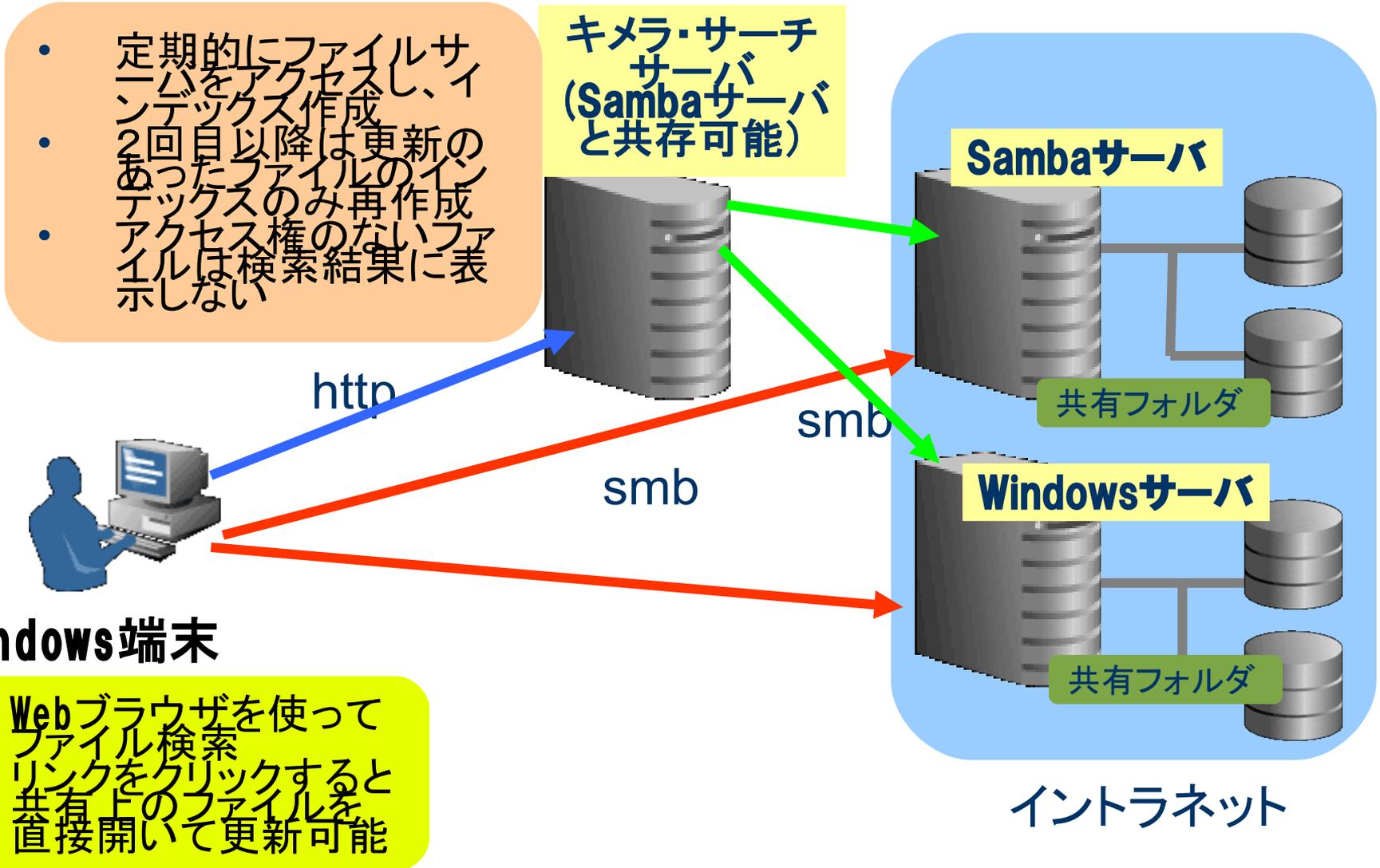
- インストール要件

Chimera Searchは以下のOSが稼働するマシンの上で動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 5.0 / 4.0
- CentOS 5 , 4

- ※2) Chimera Searchは検索対象のサーバーの上にインストールする必要はありません。もちろん、検索対象のSambaサーバーと同じでインストールすることも可能です。

# キメラ・サーチ概要図

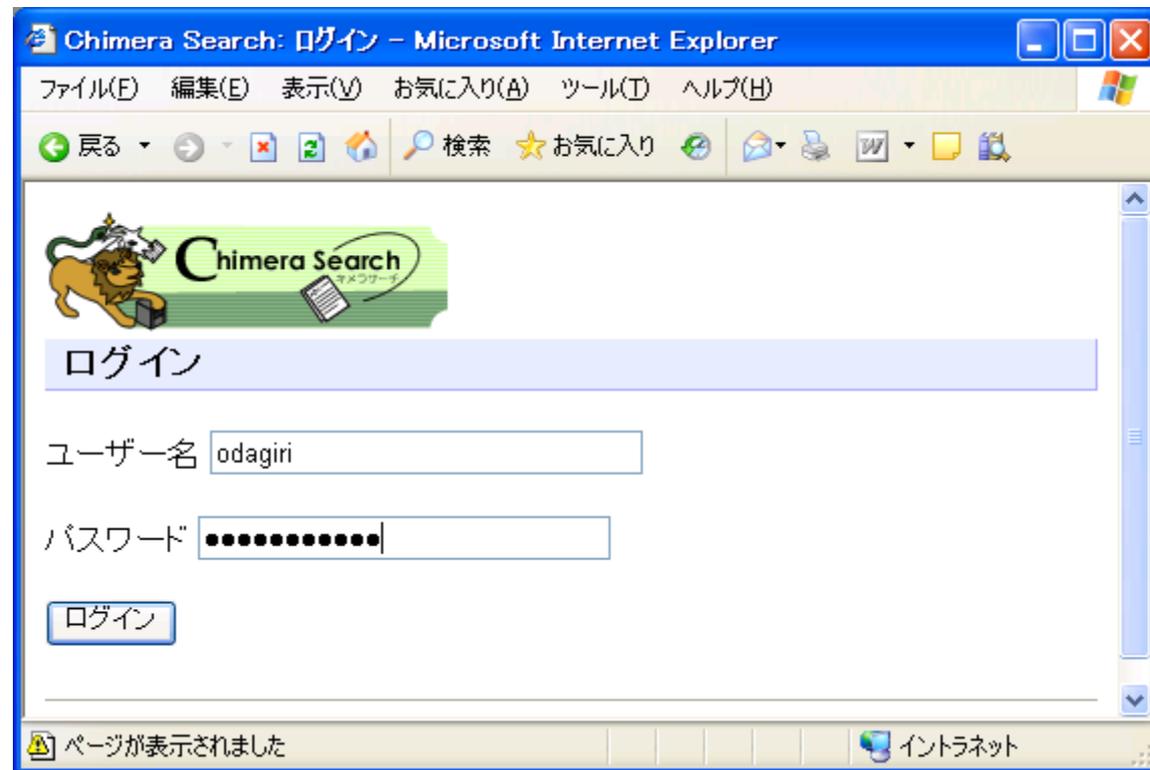


- 定期的にファイルサイズをアクセスし、インデックス作成
- 2回目以降は更新のあったファイルのインデックスのみ再作成
- アクセス権のないファイルは検索結果に表示しない

- Webブラウザを使ってファイル検索
- リンクをクリックすると共有上のファイルを直接開いて更新可能

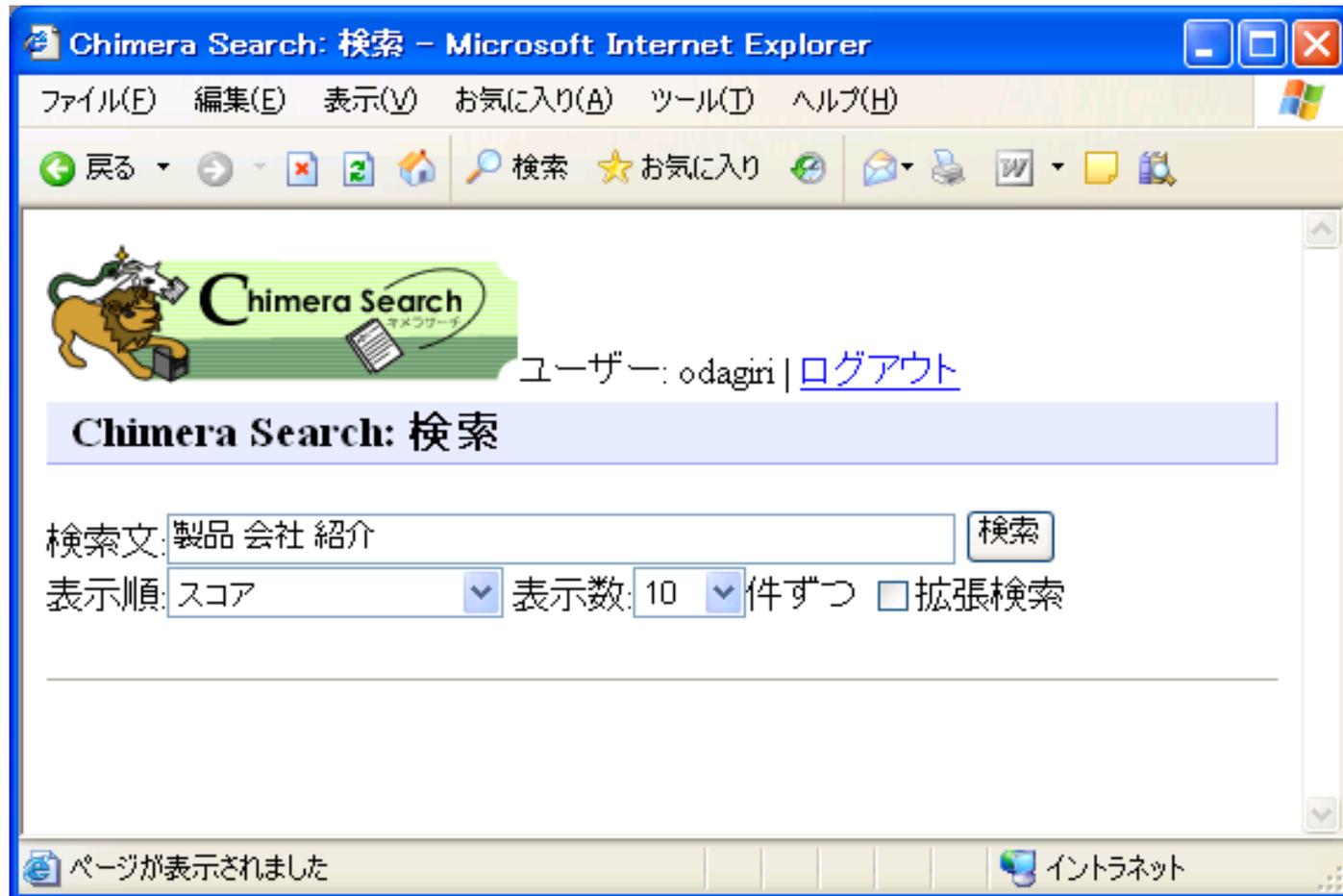
# ログイン

- Chimera Searchはファイルのアクセス権をチェックして検索結果を制御しますので、利用するにあたってログインする必要があります。
- 検索結果から直接ファイルを開けるようにWindowsクライアントをドメインに参加させ、ドメインログオンする時と同じユーザー名、パスワードを利用することを推奨します。
- WindowsクライアントのWebブラウザからChimera Searchをインストールしたサーバーに以下のようにアクセスするとログイン画面が表示されます。
- ユーザー名にはWindowsドメインコントローラもしくはファイルサーバーに登録されているWindowsユーザーのアカウント名とパスワードを入力してください。



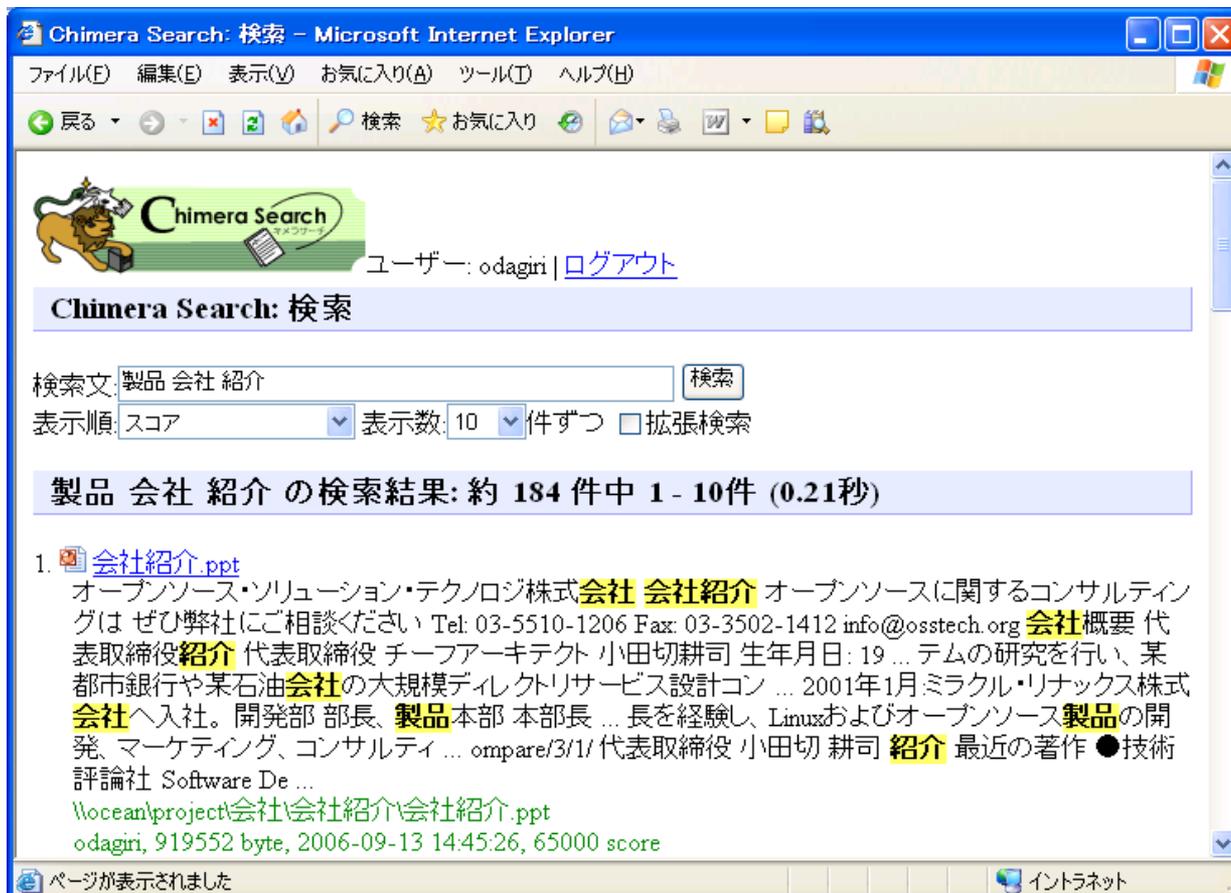
# 検索入力

- 検索分の中にキーワードを入力し、「検索」ボタンを押すと検索結果が表示されます。
- 表示順序として「スコア順」「更新日付順」「ファイル名順」「サイズ順」「所有者順」が選べます。



# 検索結果

- 検索キーワードは反転強調表示されます
- アクセス権の無いファイルは検索結果に表示されません。
- MSIEの場合、検索結果のリンクをクリックするとそのままファイルが開くことができ、ファイル更新するとファイルサーバー上のものを直接更新することができます。



Chimera Search: 検索 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

Chimera Search ユーザー: odagiri | ログアウト

Chimera Search: 検索

検索文: 製品 会社 紹介 検索

表示順: スコア 表示数: 10 件ずつ  拡張検索

製品 会社 紹介 の検索結果: 約 184 件中 1 - 10件 (0.21秒)

1. [会社紹介.ppt](#)  
 オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社 **会社 会社紹介** オープンソースに関するコンサルティングは ぜひ弊社にご相談ください Tel: 03-5510-1206 Fax: 03-3502-1412 info@osstech.org **会社概要** 代表取締役 **紹介** 代表取締役 チーフアーキテクト 小田切耕司 生年月日: 19 ... テムの研究を行い、某都市銀行や某石油 **会社** の大規模ディレクトリサービス設計コン ... 2001年1月ミラクル・リナックス株式会社へ入社。開発部 部長、**製品**本部 本部長 ... 長を経験し、Linuxおよびオープンソース **製品** の開発、マーケティング、コンサルティ ... ompare/3/1/代表取締役 小田切 耕司 **紹介** 最近の著作 ●技術評論社 Software De ...  
 \\ocean\project\会社\会社紹介\会社紹介.ppt  
 odagiri, 919552 byte, 2006-09-13 14:45:26, 65000 score

ページが表示されました

イントラネット

# 拡張検索

- 検索画面の「拡張検索」ボタンを押すと検索文字列に加え、以下の条件を指定できます。
  - ファイル名:「\*」と「?」を使ったワイルドカードで指定したファイル名のファイルを検索できます。
  - ファイルの所有者、ファイルの更新日、ファイルサイズ(K:キロバイト、M:メガバイトでも指定できます)

